

共通IDは、以下の表のとおり、識別コード、自治体コード、施設コード、種別コード、種別連番コードにより構成され、14桁となります。全国の指定避難所及び指定緊急避難場所を個別に特定するものです。

	識別コード	自治体コード	施設コード	種別コード		種別連番コード
				大分類	小分類	
説明	共通IDの頭文字は「E」を固定値とする。	自治体コードを使用。(5桁)	各市区町村における通し番号5桁を記載。住所ごとに個別の施設コードを付番。	施設の種別を識別する。 1: 指定避難所 2: 指定緊急避難場所	大分類が指定避難所の場合 1: 一般避難所 2: 福祉避難所  大分類が指定緊急避難場所の場合は0とする。	同住所内に存在する同一種別の施設数を表す番号。 1から開始し、それ以降2～9まで使用。その後は、A～Zに続き、Zの次は、a～zを使用。

「指定一般避難所」に指定されている施設の場合

例	E	●●●●●	●●●●●	1	1	●
---	---	-------	-------	---	---	---